

2011年(平成23年)11月10日 木曜日

岐 阜 新 聞

新酒告げる鮮やか「杉玉」 飛騨市の酒造店

た。今シーズンは来年4月中旬まで清酒の仕込みを続け、一升瓶換算で計約42万本を生産する予定という。

飛騨市古川町老之町の渡辺酒造店で9日、新酒の初蔵出しを告げる縁起物の「杉玉」の交換作業があり、観光客らが青々とした杉玉を見上げながら振る舞い酒を味わった。

渡辺久憲専務(42)は「例年はなく、いつも通りのフルが、醸造の温度管理に問題に仕上がった」と話している。

杉玉は直径約80センチ、重さ約70キログラムのジャンボサイズ。酒蔵で神事を営んだ後、法被を着た蔵人らがはしこに登って茶色に変色した古い杉玉を外し、鮮やかな緑色の真新しい杉玉を軒下に取り付けた。

同酒造店の新酒は、地元の酒米ヒタホマレを先月10日に仕込んだ吟醸生原酒「蓬萊 新酒しぼりたて」。



真新しい杉玉を取り付け、新酒の初蔵出しを告げる蔵人ら＝飛騨市古川町老之町、渡辺酒造店

(古宿博史)